

# 魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《15》

江津市松川町の市村地区は、国道261号に沿った小さな集落だ。人口が減少し、空き家も点在しているが、どこか懐かしい昔ながらの味わいある街並みが続く。

この市村では昭和三十年代まで、「川登(かわのぼり)」という名の市が開かれ、大いにぎわっていたという。当時は、江津市街から多くの人が、江の川を舟で上って訪れたというこ

その後、高度経済成長

の波に押されていつしか人も増え、普段は広く感じる通りには多くの手打ちそばやカニラーメン、杵(きね)つきもちには長い行列ができていた。

ノスタルジックで愉快なちんどん屋のパレードに、元気な子どもたち



## 川登の市

# 古き良き「田舎」の光景



によるギンナン売りので「じげの料理」を振る。女性は姉さんかぶり舞う。古き良き日本のしたような市の光景は、

ちんどん屋なども繰り出し、地区住民らのにぎわいに花を添える「川登の市」

江の川流域の昔ながらの暮らしを感じさせてくれる。

何より、誰もがとても良い顔をしている。行き過ぎる私にも気軽に声を掛けてくださり、師走の寒さを忘れ、ホッと心が温まるひとときを過ごさせてもらった。

少子高齢化による人口減少の波が厳しく襲っているが、皆さんの地域を思う気持ちがよみがえらせたこの川登の市が、いついつまでも続きますよう、人々の温かい笑顔が絶えることがないようにと、心から願う。

来年のことを言うと鬼が笑うというけれど、一年後のこの季節には、ぜひ川登の市を訪ねていただきたい。

(NPO法人「結まーるプラス」・かわべまゆみ、江津市桜江町在住)

― 隔週土曜日掲載 ―